

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	アセスメントが不十分でケアプランへの反映が出来ていないため、ケース記録とケアプランの関連がなっていない。	アセスメントをしっかり行い、ケアプランへの記載、ケース記録への記入方法の見直しを行い、モニタリングしやすくする。	アセスメントシートの見直しを行い、ケアプランへの記載がしやすく課題が見やすいものを検討する。	3ヶ月
2	40	利用者と一緒にを行う部分が1部分のみで、他は職員が行ってしまっているため、利用者の自主性が薄れてしまっている。	利用者が下ごしらえや後片付けだけでなく、自主性をもって一連の動作がしやすいよう支援する。	初めは、職員の声掛けで行っていただきながら、習慣をつけることで、時間を見てテーブル拭きや配膳等が自分から行っていただけるように促していく。	3ヶ月
3	54	居室に飾りや置物も少なく居心地の良い場所というより、寝に帰るだけのお部屋になってしまっている。	個人の趣味や好みに応じたお部屋づくりを考え、自分の部屋という認識ができ、居心地の良い空間にしていく。	本人と話し合い、行事の写真を貼る場所を一緒に決めたり、何を飾りたいか置きたいかを確認して、本人の好む空間づくりをしていく。	3ヶ月
4	35	地震や水害を想定した訓練はできていない。特に雪が積もったらどうするかの話合いもなされていない。	有事の際には、あわてることなく、避難誘導がスムーズに行えるように、冬期間の避難経路も話し合っておく。	合同(福祉会)の防火管理者会議において、冬期間の雪が積もったことを想定した避難方法も議題に話し合う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。